

# 第5章 『あみの自然 大好きプロジェクト』の推進

## みんなで進めよう阿見町の環境づくり

### 1 プロジェクトの目的と役割

本計画では、計画に掲げられた基本目標の達成に向けて、先導的な役割を果たす取組を『あみの自然 大好きプロジェクト』として定め、これからの10年間、みんなで重点的に取り組んでいきます。

### 2 プロジェクトの内容

私たちは、日々の暮らしや産業活動の中で“あみの自然”を意識し、一人一人が、また、みんなが、“あみの自然”との多様なふれあいを楽しみ、活かしながら、より良好で快適に暮らしや活動ができる環境づくりを進め、誇りをもって、子どもたちに繋いでいきましょう。

そのため、『あみの自然 大好きプロジェクト』をキャッチフレーズに掲げ、

- 環境・自然エシカルを育てる
- 子どもたちと一緒に身近な自然を楽しみ、守り・育む
- 身近な自然の恵みと役割を生かす
- 阿見町の環境を楽しむライフスタイルや文化を創る

をテーマに、このプロジェクトを展開し、“あみの自然”と暮らしを楽しむライフスタイルをつくり、“あみの環境文化”として育てていくことをめざします。

## あみの自然 大好きプロジェクト

～ “あみの自然”と暮らしを楽しむライフスタイルをつくろう～

### プロジェクトの展開方向

“あみの自然”を <b>知る・学ぶ・考える</b>	“あみの自然”や自然の恵みと役割を学び・知る、それぞれの暮らしや活動との関わりを考えていきます。
“あみの自然”の <b>豊かな恵みを楽しむ</b>	暮らしの中で、自然とのさまざまなふれあいを大切にし、“あみの自然”の豊かな恵みを活かした暮らしづくりを進めます。
“あみの自然”を <b>きれいに、 親しみやすくする</b>	ポイ捨てや不法投棄をなくし、安心して、快適に自然とふれあえる環境づくりを進めます。
“あみの自然”の <b>恵みや役割を活かす</b>	霞ヶ浦や谷津田・森林などの恵み・役割を再発見し、活用し、持続可能なまちづくりを進めます。
“あみの自然”を <b>守り・育て、つなぐ</b>	恵み豊かな自然を支えている緑・水辺・生きものを守り・育て、再生し、次世代につないでいきます。

### 3 町民・事業者・環境保全活動団体・町の取組の方向

『あみの自然 大好きプロジェクト』を進めていくため、町民・事業者、環境保全活動団体・町は、協力し合い、それぞれの取組を積極的に進めていきます。

展開方向	町民	事業者
“あみの自然”を 知る・学ぶ・ 考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>“あみの自然”を観察してみましょう。</li> <li>子どもの環境教育を支えましょう。</li> <li>自然の恵みを再発見しましょう。</li> <li>ふれあい地区館での活動に参加しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“あみの自然”を知り、影響を減らしましょう。</li> <li>子どもの環境教育を支えましょう。</li> <li>事業活動への自然の恵みを再発見し、活かしましょう。</li> </ul>
“あみの自然”の 豊かな恵みを 楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>“あみの自然”とのふれあいを楽しみ、暮らしに活かしましょう。</li> <li>“あみの食”づくりを楽しみましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“あみの自然”とのふれあいを楽しむ事業を考え、活かしましょう。</li> <li>“あみの食”づくりを進め、事業に活かしましょう。</li> </ul>
“あみの自然”を きれいに、 親しみやすく する	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然や霞ヶ浦湖岸をきれいにしましょう。</li> <li>住まいの周辺をきれいにしましょう。</li> <li>水を汚さないようにしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然や霞ヶ浦湖岸をきれいにしましょう。</li> <li>事業所周辺をきれいにしましょう。</li> <li>水を汚さないようにしましょう。</li> </ul>
“あみの自然”の 恵みや役割を 活かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>“あみの自然”の恵みを育み、暮らしに活かしましょう。</li> <li>“あみの自然”の恵みを支える活動に協力しましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“あみの自然”の恵みを育み、事業活動に活かしましょう。</li> <li>“あみの自然”の恵みを支える活動に協力しましょう。</li> </ul>
“あみの自然”を 守り・育て、 つなぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>“あみの自然”の恵みや役割を守り、育み、活用する活動に参加協力しましょう。</li> <li>自然と暮らしの新たな関係づくりを進めましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“あみの自然”の恵みや役割を守り、育み、活用する活動に参加協力しましょう。</li> <li>自然と事業活動との新たな関係づくりを進めましょう。</li> </ul>

	環境保全活動団体	町	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 動植物の生息生育状況や変化を調べましょう。</li> <li>• 町民の自然観察や環境学習に協力し、支援しましょう。</li> <li>• “あみの自然” 再発見を進めましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「阿見町の自然ガイド 2020」を普及します。</li> <li>• 環境教育や環境学習の機会を充実します。</li> <li>• “あみの自然” を発信します。</li> <li>• ふれあい地区館での活動を支援します。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• みんなで“あみの自然”の恵みを活かす活動を進めましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• “あみの自然”とのふれあいの場を整備します。</li> <li>• 地産地消など“あみの自然”の恵みと暮らしに係る情報を整理し、発信します。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身近な自然地や霞ヶ浦湖岸の清掃や環境美化活動に協力しましょう。</li> <li>• 水を守る活動や未利用地を活かす活動を進めましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 清潔できれいなまちづくりを進めます。</li> <li>• ポイ捨てや不法投棄防止を普及します。</li> <li>• まちの清掃及び環境美化活動を進め支えます。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• “あみの自然”の恵みや役割を支える活動を進めましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• “あみの自然”の恵みや役割を支える活動を進め支えます。</li> <li>• 地産地消の推進や「市」開催、農水産物を活かした食づくりを支えます。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• “あみの自然”の保全、再生、活用などを企画し、活動を進めましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• “あみの自然”の保全、再生、活用などの活動を進め支えます。</li> </ul>	

学校・教育活動との連携  
 ふれあい地区館の活動との連携  
 町民活動センターとの連携

## 4 みんなで『あみの自然 大好きプロジェクト』を進めましょう

### あみの自然 大好きプロジェクト

環境エシカルを育み、“あみの自然”と暮らしを楽しむライフスタイルをつくらう

“あみの自然”を知る・学ぶ  
考える

- 「阿見町の自然ガイド 2020」を活用する
- 子どもの環境教育を支える
- “あみの自然”を再発見する
- 地域の環境学習・体験学習の拠点をつくる

スタディツアーの様子



“あみの自然”の豊かな恵みを  
楽しむ

- 自然とのふれあいを楽しむ
- 霞ヶ浦とのふれあいを楽しむ
- 水辺や緑を活かし、賢い暮らしづくりを進める
- 地域の食を楽しむ

ワッカクルでの自然とのふれあい



“あみの自然”を  
きれいに、  
親しみやすくする

- ごみが散乱しない美しい風景を創る
- 霞ヶ浦のプラスチックごみをなくす
- きれいな水や水辺を確保する
- 利用されていない農林地などの地域活用を進める



阿見町家庭排水浄化推進協議会  
ミニ消費生活展

“あみの自然”の  
恵みや役割を  
活かす

- 緑や水辺の機能などを活かした暮らしづくりを進める
- 農水産物の地産地消など地域の農業を支える
- 霞ヶ浦の生きもの循環を支え、恵みを活かす
- 環境に配慮したまちづくりを進める

あみ採れたて  
野菜市



“あみの自然”を  
守り・育て、  
つなぐ

- 自然との新たな関係づくりを考え、行動する
- 雨水の保水性を高め、良好な水循環を育む
- 地域でのふれあいの森づくりを進める
- 生物多様性を守り・育み・恵みを活かす



小池城址公園草刈り

一人一人ができることから取組を進め、そして、取組の環を広げましょう。

- ①「阿見町の自然ガイド 2020」を活用しましょう
- ②子どもの環境教育や体験学習を進めましょう
- ③霞ヶ浦について学んでみましょう
- ④“あみの自然”を再発見しましょう
- ⑤調べ、再発見した“あみの自然”の情報を発信し・共有しましょう
- ⑥阿見町の自然環境と地球環境、気候変動の影響などとの関連を考えましょう
- ⑦地域の環境学習・体験学習の拠点づくりを進めましょう（ふれあい地区館の活用など）

- ①四季の風景、自然の音、木陰、風などを楽しみましょう
- ②子どもと一緒に、身近な緑や水辺にでかけ、自然について話しあいましょう
- ③サイクリングや釣りなどレクリエーションを楽しみましょう
- ④霞ヶ浦に出かけ、霞ヶ浦の自然や生きものとのふれあいを楽しみましょう
- ⑤“あみの自然”を活かし、自分の趣味を楽しみましょう
- ⑥エコマルシェを育て、“あみの食”を楽しみましょう  
(阿見町の農産物・水産物などを活かす地産地消などを進めましょう)

- ①ポイ捨てや不法投棄をなくしましょう
- ②住まいや事業所周辺の環境美化を進めましょう
- ③子どもと一緒に、家のまわりのごみ拾いをするなど、ごみについて話しあいましょう
- ④霞ヶ浦のプラスチックごみなどをなくしましょう
- ⑤地域、団体の清掃や環境美化活動、公園緑地里親活動を進めましょう
- ⑥水を汚さない取組や水辺をきれいにする活動に協力しましょう
- ⑦利用していない林や空地など地域活用に協力しましょう

- ①子どもと一緒に、“あみの自然”や霞ヶ浦の恵みについて考えましょう
- ②風の道を活かす。自然換気や自然採光を楽しみましょう
- ③緑のカーテンや建物周辺緑化、ガーデニングを楽しみましょう
- ④地域の農産物を使う地産地消や農業体験など、地域の農業を支えましょう
- ⑤霞ヶ浦の役割や恵みを考え、水産物を使うなど、暮らしに活かしましょう
- ⑥環境に配慮した農業やまちづくりを進めましょう、農林地の保全活用に協力しましょう
- ⑦身近な場所の防災・環境保全機能を考えましょう

- ①自然と暮らしの新たな関係づくりを進めましょう
- ②子どもと一緒に、地域でのふれあいの森づくりなどに参加・協力しましょう
- ③雨水の保水性を高める。雨水活用を考えましょう
- ④谷津田と森林の活用と保全・管理に協力しましょう
- ⑤霞ヶ浦の生きもの循環を育てる取組に協力しましょう
- ⑥希少動植物の生息生育環境の保全・再生に協力しましょう
- ⑦特定外来種対策に協力しましょう

町や学校・地域・環境保全活動団体などが実施する環境講座やイベントに積極的に参加しましょう。

## 5 『あみの自然 大好きプロジェクト』を進めていくために

本計画では、『あみの自然 大好きプロジェクト』における町民・事業者の取組を積極的に促進し、支えていくために、次に示す取組やしくみづくりを進めます。

### (1) 「阿見町自然ガイド 2020」の普及と活用を進めます

阿見町の自然を学び・知る・考えるを支えていくために、2020（令和2）年度に作成された「阿見町自然ガイド 2020」の普及を進めます。

また、「阿見町自然ガイド 2020」を活用して、学校での環境教育や町民の環境学習を支援していくための環境学習教材（パネルやオンライン情報など）を作成し、提供します。

### (2) 学校での環境教育支援の輪づくりを進めます

学校での環境教育を補佐していくため、町民や有識者、環境保全活動団体、地域で、子どもの環境教育などを支える人々の輪づくりを進めます。

また、子どもと一緒に参加や体験できる環境学習や体験学習の機会を充実します。

### (3) 住民による環境マップづくり・発信を支援・促進します

町民による“あみの自然”の再発見と、町民の手による地域の「あみの自然 大好きマップ」づくりや情報発信、地区の環境づくりを支援します。

## コラム

### 町民有志による自然環境の調査研究



阿見町環境調査だより（H25年より）

阿見町では、2011（平成23）、2012（平成24）年度に環境保全基本調査として、町民による町内に生育・生息する動植物の調査を行いました。

その後、町民有志らによる自主的な補完調査などが進められ、多種多様な動植物の生育・生息が確認されています。町の里地里山・霞ヶ浦湖岸には希少な動植物が生育・生息、飛来するなど、生物多様性に恵まれた地域となっています。

植物：1,175種（シダ植物：92種、木本植物：250種、草本植物：833種）

野鳥：165種

昆虫：約460種、クモ：約67種

両生類：カエルなど、は虫類：ヘビなど

ほ乳類：ノウサギ、カヤネズミなど

魚類・水生生物

#### (4) 町民と環境保全活動団体のネットワークづくりを進めます

町民活動センターを活用し、プロジェクトを進める町民や環境保全活動団体のネットワークづくりを進めます。また、他の分野の活動団体との連携を深め、多彩な展開が図れるように努めます。町民活動センターだより「えがお」での活動紹介など、活動への理解と参加促進を図ります。

#### (5) エコマルシェの普及など、地産地消・食が楽しめるまちづくりを進めます

“あみの自然”の恵みのひとつである地域の農産物や水産物を、定期的に販売する市場や、地域の食材を使用した食づくり、食を楽しむことができる“エコマルシェ”の普及と活動支援を進めます。

こうした取組と合わせて、地産地消の推進や食を大切にする意識を育み、農水産業が環境に果たしている役割への理解の普及と環境にやさしい農業の推進、食育や食品ロス対策を進めます。また、フリーマーケットの開催による不用品交換会などリユースを促進します。

#### (6) “あみの自然”と暮らしを楽しむライフスタイル情報の収集と発信を進めます

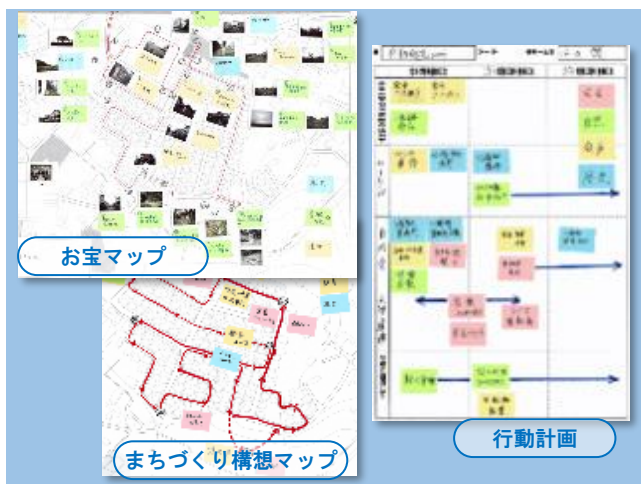
町民の「“あみの自然”と暮らしを楽しむライフスタイル」の実践事例を収集・蓄積し、定期的に情報発信を行っていくことにより、普及を図ります。

#### コラム

#### 地域のお宝さがし・まちづくりワークショップ

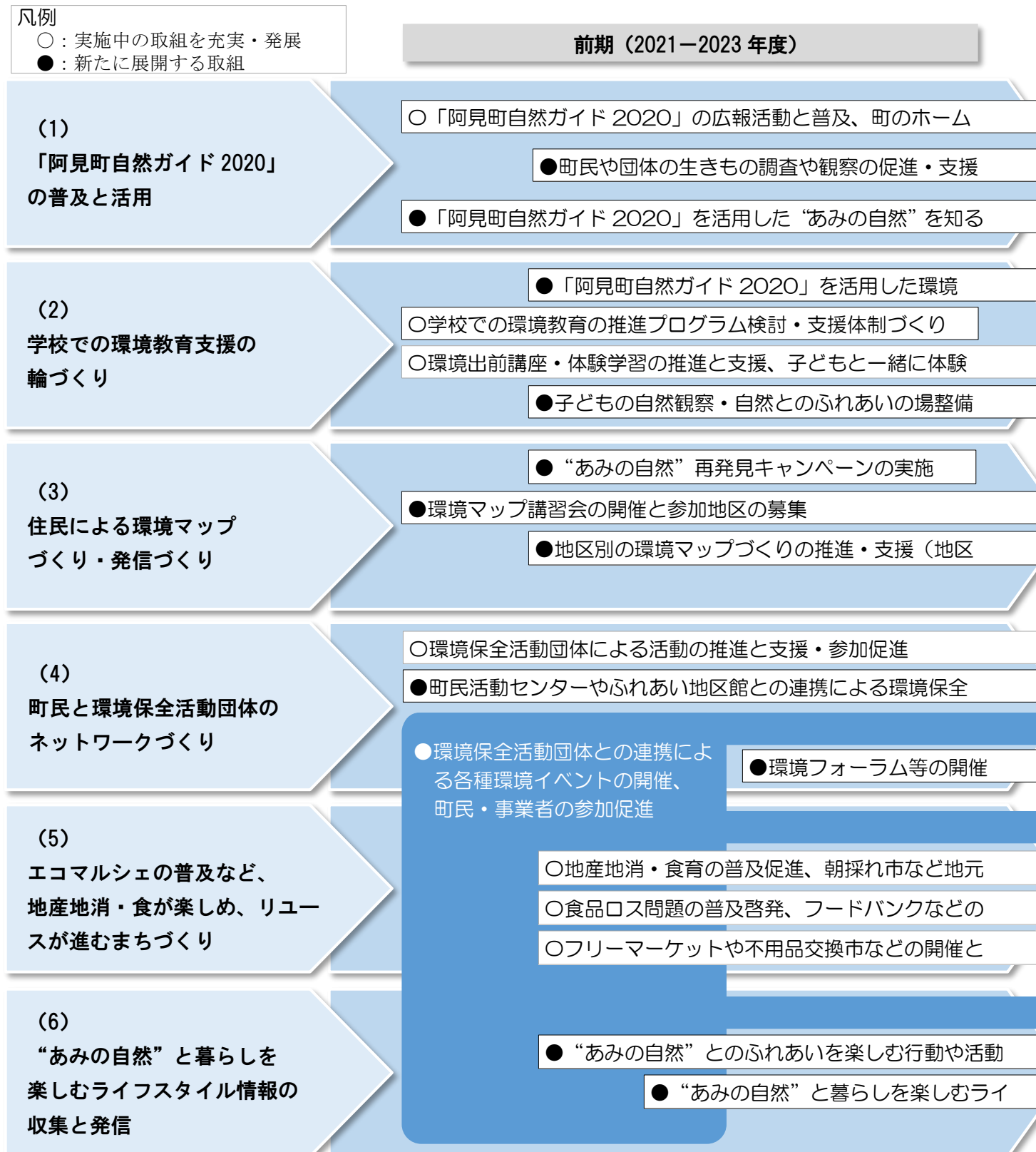
区民全体で、今後、どのようなまちづくりを目指していくかを考えていくため、茨城大学農学部の学生と一緒にワークショップによる、地域のお宝探しやお宝マップづくり、お宝を活かしたまちづくり構想マップや行動計画づくりを進めています。

令和元年度・2年度は、レイクサイドタウンの皆さんとの協働により実施しました。



## 6 『あみの自然 大好きプロジェクト』の展開

本計画を具体的に展開していくために、計画を概ね3年ごとの前期、中期、後期の3つの期間に分け、各段階で取組の進捗状況に応じて具体的な取組内容を検討や見直しを行い、町民・事業者・環境保全活動団体・町の協働で、積極的に進めていきます。





ここでは、『あみの自然 大好きプロジェクト』における基本的な取組のスケジュールを示しています。また、具体的な取組の内容は、前期において実践や検討を行いつつ設定します。

町では、これらの取組に関連する施策や事業を各担当課で実施や検討していくことにより、プロジェクトの展開を支えていきます。

中期（2024—2027 年度）

後期（2028—2030 年度）

ページでの情報提供

と観察情報の提供依頼、情報整備

●阿見町自然ガイドの情報更新と提供

勉強会や自然観察会の開催と参加促進

学習教材の作成と情報の提供

○環境教育・体験学習支援人材の育成と派遣など、環境教育の支援

できるごみ拾いなど環境を守り・育てる機会の充実

（町民や地域との協働による学校林や学校農地、自然観察の場づくりと管理など）

●“あみの自然”再発見の情報整備とパンフレットなどの作成・発信

ごとに実施）

●環境マップ作成地区の環境づくりの推進支援・環境マップの発信

等活動拠点づくり（活動情報の発信等支援、他の活動団体との交流促進・ネットワークづくり）

（子ども・町民、団体等の活動発表や活動報告、講演会、環境交流の推進）

農産物や水産物の「市」の開催支援、農水産業と環境との関わりへの理解普及

活動支援

参加支援（リユースの普及促進）

の普及促進、環境保全活動団体の活動支援

フスタイルづくりの推進（町民の取組や工夫に関する知恵・取組情報の募集、優秀賞の選考など）

●“あみの自然”と暮らしを楽しむライフスタイルのメニューづくりと情報発信

## 参考 “あみの自然” を守り・育み・活かす主な環境保全活動団体の紹介

※主な団体や活動の情報は、町民活動センターホームページなどで提供しています。

### 活動紹介

#### 環境保全活動団体の取組（１）

町民活動センターだより「えがお」R2.6より

#### 実穀近隣公園ほたる野会

かつて実穀近隣周辺の水辺にホタルは翔んでいました。そのホタルを復活させようと、2013年に会を発足しました。実穀近隣公園の草刈り、廃棄物の除去、ホタルの人工飼育、鑑賞と1年を通して活動します。作業は桜が咲くころから始まり、落葉の片づけとともに終わります。そしてまた次の年へと続きます。2016年には筑見から公園まで続く「ホタルの小径」を開通させました。

活動場所：実穀近隣公園

代表 鈴木 実さん からのメッセージ

人工飼育したホタルを放ち、ホタルが飛翔するのを鑑賞します。鑑賞時期は7月～8月中旬までです。今年はホタル前線を町民活動センターHPでお伝えしていきます。



### 活動紹介

#### 環境保全活動団体の取組（２）

町民活動センターだより「えがお」R2.6より

#### 阿見里山ワンダーランドの会

私たちは市街地に近い若栗の山林と小川が数十年も荒れ放題になり「ゴミ捨て場」になっている状態を嘆き、自分たちの手で里山を守り残したいという思いで「里山ワンダーランド」を結成しました。この里山を通称ワッカク（水が湧き出すところ）里山の森と言います。

代表 佐藤 征男さん からのメッセージ

市街地に隣接した「ワッカク里山の森」をフィールドにしています。身近な小さな森林で自然を感じて森林浴を楽しみ、汗水流して快適に里山作業を行っています。普段からこの身近な里山が子ども達に親しまれ、楽しんでもらえることを願っています。また地域の方がワッカクの森を身近に感じることができる「里山プレイパーク」にしていきたいと思えます。自由にワッカクの森に来て楽しんでください！



## 活動紹介

### 環境保全活動団体の取組 (3)

町民活動センターだより「えがお」R2.6より



小雨でもへっちゃら！  
里山を整備する女性陣。

### 阿見町小池城址公園里山の会

平成 11 年に史跡と里山の復活を目的として、阿見町、いばらき森林クラブ、県の 3 者が森林整備協定を結びました。その 9 年後、阿見小池城址公園里山の会は発足しました。里山を整備するには年月が必要ですが、年間を通じて保全作業を続けることで植物・昆虫・動物などの生息環境を維持していくのが願いです。

活動場所：小池城址公園

今後の活動：7月19日,8月10日,9月21日,10月11日,  
11月15日,12月26日,1月24日,2月14日,3月21日

代表 青木 成夫さん からのメッセージ

下草刈り、炭焼き、樹木の間伐、チップ作り、遊歩道の整備など、里山で作業することが好きな方、どなたでも歓迎しますので、一度お越しください。

## 活動紹介

### 環境保全活動団体の取組 (4)

町民活動センターだより「えがお」R2.6より



作業はもくもくと

作業の合間に歓談

5月、ホタルの放流。  
今年は何匹翔ぶかな。

レイクサイドタウンと  
霞ヶ浦を一望

### レイクの森を守る会

レイクサイドタウン地区(大室)は阿見町の北側、稲敷台地の北端、霞ヶ浦湖畔にあります。私たちはその住宅地の南側の里山林をレイクの森と呼んでいます。平成 27 年、県の「身近なみどり整備推進事業」により、レイクの森内に生育する巨木の伐採が行われました。その結果、里山や隣接道路は明るくなり、環境が一変しました。この環境を維持、保全しようと地区住民有志が活動をしています。また、環境省主催の「みどり香るまちづくり」企画コンテストで入賞し、16 種類 200 本の樹木が贈呈されました。その後、間伐材撤去、水路整備、湧き水循環装置の稼働、階段取り付け・補修、花壇の整備、植生調査、ホタルの飼育・放流などに取り組んでいます。

代表 阿部 明興さん からのメッセージ

レイクの森が整備されたので、上って霞ヶ浦を一望することができます。この景色は最高です。住民の皆さんとともに環境美化を継続し、お互いの絆を深めて生涯楽しく生活していくのが希望です。今年もホタルの幼虫を放流しました。7 月には育ったホタルが光る様子を皆さんで観察するのが楽しみです。

## 活動紹介

### 環境保全活動団体の取組 (5)

町民活動センターだより「えがお」R2.6より



学生が井戸を掘りました。この水を利用します。

仕込んだ味噌で味噌汁を作りました。田植えのあとのひと時です。



## うら谷津再生の会

うら谷津とは、耕作放棄された小さな谷にある田（谷津田）と、それを囲む山林のことをいいます。阿見町には自然豊かな利用されていない谷津がたくさんあります。これを町の宝とし、上長地区うら谷津の自然、農業、文化の再生や、市民の交流を目的として、地元住民、町民、茨城大学学生サークルがボランティア活動に取り組んでいます。

活動場所 上長地区

代表 中島 紀一さん からのメッセージ

草刈り、田畑の耕作、農業の体験学習に取り組んでいます。文化行事としては野点（のだて）会、自然観察会、秋の花見会、味噌仕込み会を行いますので、興味のある方はぜひ連絡をください。

## 活動紹介

### 環境保全活動団体の取組 (6)

町民活動センターだより「えがお」R2.6より



ばったりとポニーに乗った子どもたちに出会いました。

希少種を見守りましょう。



## 神田池を保全する会

神田池は、元禄時代（1690年代）に灌漑用水として湧水を貯めた『ため池』です。この池を保全して多様な在来生物を再生させるために2000年に「神田池を保全する会」を結成しました。2010年には『全国ため池百選』に選ばれ、名実ともに阿見の宝になりました。神田池の水量、水質の確保、動植物の保護、周辺環境の整備、阿見町の自然環境保全に関する学習・研究、啓発活動を行います。

代表 荻島 光明さん からのメッセージ

貴重な自然と景観を残すためには水生植物や周辺林の管理作業が必要です。また外来種を移入したり在来種を持ち帰ることで希少な動植物は絶滅することがあります。私たちは自然環境と共存して、自然環境を次世代につないでいきたいと思っています。



稲刈りの体験です。思わず満面の笑みを浮かべます。



### あみ自然再生ネットワーク

地域の遊休農地<sup>※</sup>などを問題にし、地域の農業の再生と農業や自然が豊かな地域づくり・まちづくりを目指しています。阿見町・茨城大学との地域連携事業と関係し、地域の農業再生に向けて講演会・青空市などを開催しています。また食と農について学校給食や地産地消の推進を行っています。

阿見町の自然や農業に関係する団体、個人によるまちづくり勉強会を行っていますので、地産地消・自然再生による地域農林業の再生に興味のある方は連絡ください。

### 明治はじめの霞ヶ浦と阿見町



※図の出典: 明治初めの霞ヶ浦・北浦～第一軍管地方二万分一迅速測図原図に見る～国土交通省関東地方整備局霞ヶ浦河川事務所

